

安全・安心な

消費生活実現のために



消費者啓発イベントの様子

5月は消費者月間です。今年のテーマは「デジタルで快適、消費生活術～デジタル社会の進展と消費者の暮らし～」です。コロナ禍を機に生活に関わるあらゆることがインターネットを活用するデジタルでできるようになってきています。年齢を問わず多様化する消費者の生活の質を向上させるためにも、この機会に「デジタル社会」について考えてみましょう。

【消費生活センター】

「自分は大丈夫」 その思い込みは危険です

デジタル化に伴う消費者トラブルが多発

インターネットは日常生活に不可欠なものになっていくと同時に、それに伴う相談が増えていきます。昨年度、消費生活センターに多く寄せられた相談事例を紹介いたします。

通信販売

インターネット広告などで「お試し」で購入したつもりが、定期購入の契約だとわかった。

購入前に条件を確認しましょう。

還付金詐欺

市職員をかたり過払い金の返金などを理由に情報を聞かれ、預金をだましとられた。

暗証番号などは絶対に教えないでください。



ATMでの操作などを指示された場合は詐欺を疑ってください。

スマホで稼げる副業サイト

インターネットで見つけた副業サイトに登録し、高額な契約をしたが全く稼げることができない。

契約前に冷静に考え、不要な場合はきっぱりと断りましょう。

トラブルに巻き込まれないために

手軽で便利なはずのインターネットも、トラブルに遭えば大変です。悪質商法や特殊詐欺などの被害に遭わないためには、私たち一人ひとりがあらかじめ知識を持ち、心構えをしておくことが大切です。また、年齢を問わず、いつ誰が被害に遭うかわかりません。



「自分は大丈夫」と思い込まず、不審な電話がかかってきたり、少しでもおかしいと感じたら、すぐに消費生活センターに相談してください。

相談窓口をご活用ください

- 消費者ホットライン ☎1188
- 消費生活センター ☎33-1227 (相談のみ) 午前8時30分～午後5時15分 (土・日曜、祝日、年末年始を除く)
- 和歌山県消費生活センター ☎073-433-1551 平日 午前9時～午後5時 土・日曜日 午前10時～午後4時 (祝日、年末年始を除く)

消費者市民社会の実現を目指す活動

消費生活センターの取り組み

消費生活センターでは、市民の皆さんの消費者被害防止のために、さまざまな啓発を行っています。

出前講座

誰もが消費者として、インターネットを利用する機会が増えていきます。インターネットについて、正しい知識やもしもの時の対処法を学ぶ出前講座を実施しています。

くらし応援ニュース

消費生活センターでは、消費者の皆さんに気をつけてほしい最新のトラブル情報や生活に役立つ知識についてまとめた「くらし応援ニュース」を毎月1回発行しています。



▲出前講座の様子



LINEアカウントで情報発信

橋本市消費生活センター公式LINEアカウントでは、消費生活に関する緊急速報やお役立ち情報を月に数回配信しています。若い人や子育て世代に向けた注意喚起情報も配信します。

左の二次元コードから登録していただくか、LINEアプリで「橋本市消費生活センター」を検索してください。



啓発動画の配信

令和4年度に初芝橋本中学校高等学校の生徒会の皆さんと成年年齢引き下げに関する啓発動画を作成しました。橋本市公式YouTubeチャンネルをぜひご覧ください。

●タイトル 「成人になる前のアナタに」



▲令和4年度消費者交流会の様子

消費者交流会

(はなぷらConsumer Meeting)

消費者交流会はSDGsの推進を目的として、「エシカル消費」や「食品ロス削減」について市民の皆さんに広く知ってもらうためのイベントです。行政や事業者、市民ボランティアの皆さんと協力しながら実施しています。今年も開催する予定です。

私たち消費者が社会の中心となり、より住みよい社会となるように、消費者力を高めていきましょう。イベントに興味のある人は、消費生活センターまでお問い合わせください。

くらし応援隊の活動

くらし応援隊は、消費生活について学んだ知識を地域での見守りや啓発活動につなげる市民ボランティア団体です。近隣の高齢者に困っている様子はないかなど地域の見守り活動をしたり、トラブルに巻き込まれた可能性のある場合などに消費生活センターの相談窓口を紹介したりします。

悪質商法や特殊詐欺の手口は、年々巧妙になってきています。特に自宅にいる時間の多い高齢者が被害に遭いやすいのが現状です。

安全・安心な消費生活を実現するために、消費生活センターと共に、くらし応援隊として活動していただける人のご参加をお待ちしています。



▲くらし応援隊の活動の様子